

平成28年度 事業報告

あおいとり日野(生活介護)

出張所:パンの店あおいとり

1、サービス事業について

(1) 定員数・現員数・平均年齢

生活介護	男性	女性	現員合計
定員:30名	18名	12名	30名
平均年齢	35.5	38.8	37.03

平均支援区分:4.93

(2) 利用実績

開所日数	242日
平均利用人数(1日)	27.3人(93.0%)

(3) 服薬状況

てんかん薬	安定剤	その他内服薬	合計
9名	14名	6名	29名 (実人員30名)

*その他内服薬:降圧剤・鎮痛剤・糖尿病

(4) 入退所者状況

入所者	0名	退所者	0名
同事業所での サービス変更	0名		

(5) 職員体制

常勤換算	生活支援員
常勤	10.0
非常勤	8.6
合計	18.6

*2:1(利用者:職員)人員配置区分Ⅱ型

*有資格者:介護福祉士5名、社会福祉士2名、精神保健福祉士1名

*管理者、サービス管理責任者兼務

(6) 拠点について

・東平山の建屋前の都道開通によって生活介護の分散を余儀なくされ、3月14日から試行期間とし利用者の一部を上田に異動した。安全確保を考慮すると同時に、高齢化に伴う重度化する利用者支援を見据えての個別化を図り、29年度より上田を従たる事業所として位置づけた。また、分散に伴い上田の建屋一部改修を進めた。

2、各事業の活動実績

①送迎サービス	・送迎 469 回
②行事	4月 出発式 10月 運動会 5月 バスハイク 12月 クリスマス会 9月 2泊旅行 3月 福祉のつどい、納会
③定期プログラム	・刺しゅう指導 20 回 ・調理 89 回 ・外食 2 回 ・味噌汁(スープ)提供 42 回 ・パン昼食 8 回
④余暇活動	・音楽リハビリ 11 回 ・3B体操 9 回 ・メイク講座 1 回 ・リズム体操 8 回 ・創作活動 48 回
⑤ショップ関係	・パン感謝デー 12 回 ・市役所定期販売 10 回
⑥健康・衛生管理	・ドクター巡回 6 回 ・健康会議 6 回 ・健康診断(6月) ・歯磨き点検(毎日) ・環境整備 11 回
⑦家族会との連携	・家族会 5回 ・契約及び個別支援計画面談等(30名) ・サービス等利用計画面談 16 名
⑧ケアホーム青い鳥との連携	・運営委員会 12 回 ・管理者会議 12 回 ・ファミリーデー
⑨親の会との連携	・役員会 10 回 ・勉強会 3 回 ・育成会都大会 ・青い鳥バザー ・親の会バスハイク 2 回 ・親の会総会 ・見学者受け入れ 5 回 ・母親ボランティア ・歳末バザー
⑩地域との連携	・外部ボランティア 延べ155 名 ・近隣中学校職場体験実習受け入れ 2 名 ・もりしげ感謝祭 ・産業祭 ・七生特別支援学校実習受け入れ 7 名 ・わーく・わーく会議 12 回 ・夏ボラ説明会 ・地域懇談会 2 回 ・回転市場バザー ・七生特別支援学校事業所説明会 ・日野高校文化祭パン販売 ・八王子いちよう祭
⑪防災関係	・防災訓練 6 回
⑫会議等	・振り返り 236 回 ・運営委員会 12 回 ・職員会議 12 回 ・個別支援会議 30 名 ・リスクマネジメント会議 12 回 ・モニタリング会議 30 名 ・パン会議 2 回
⑬第三者評価	・平成29年度実施予定
⑭社会貢献	・社会的弱者を過ごしの場、仕事の場として受け入れ
⑮その他	・街頭募金

3、平成28年度 サービス提供実績【延べ人数・収入】

別途資料 参照

4、28年度を振り返って

イ、利用者状況について

- ・3月19日に東平山建屋前の都道が開通し、安全対策上、生活介護を上田に分散し3月14日から試行期間として8名を上田で支援した。
- ・2025年度には就労継続B型の利用者平均年齢は50歳を超え、2030年度には生活介護利用者の平均年齢が50歳を超えることとなる。作業に軸足を置いている利用者のプログラム構成に工夫が必要になってくる。高齢化を迎えるにあたって、利用者の暮らしぶりをどのように捉えるか、構築するかが課題となっている。

ロ、職員配置について

- ・27年度に異動があったため募集をかけたが、思うように人材が集まらず、人材確保は引き続き継続していたが、8月、9月に1名ずつ入職した。

ハ、サービス提供について

- ・安全確保を考慮すると同時に、高齢化に伴う重度化する利用者支援を見据えての個別化を図り、上田を従たる事業所として位置づけた。また、分散に伴い上田の建屋一部改修を進めた。
- ・変化することに体制の弱い方への配慮として作業内容やシフトや送迎ルートや時間の変化は極力避けた。
- ・毎週月曜日にパン昼食を提供することになった。

ニ、生産活動について

- ・パン事業の売り上げに関して、夏は落ち込みを見せたものの最終的には1,400円の利用者期末賞与を支払うことができた。

ホ、余暇

- ・28年度当初、行事参加を促進させるために事業所の行事費負担を増やしたが、建屋前の都道開通のため方向転換を強いられた。
- ・作業のように利用者各個別の満足感のみに焦点を当てるのではなく、余暇活動を充実させることによって主体的に動き仲間関係や社会性を育み、暮らしの豊かさを求めていくことが課題である。

へ、健康衛生管理

- ・福祉のつどいの演目である『あおいとりの歌』をきっかけとして朝の会での体操をスタートした。
- ・利用者がパートリーダーとなって『期待される自分』を意識できる仕掛けにし、主体的に動き仲間関係や社会性を醸成することが今後の課題となっている。

ト、家族との連携

- ・生活介護の家族会出席率は48%であった。
- ・さらに出席率を上げる工夫を仕掛けていきたい。

チ、地域との連携

- ・地域懇談会に参加した。平山中学校区から七生中学校区へ鞍替えを図った。
- ・青い鳥バザーを催して地域とのつながりを深めた。

リ、防災関連

- ・相模原の事件を受け、警察に相談した。
- ・防災マニュアルの見直しが課題である。

ヌ、苦情解決

- ・家族会で第三者委員の紹介をし、周知を図り、理解を深めた。

ル、ヒヤリッ・ハット報告、事故報告

- ・ヒヤリッ・ハット報告は年間43件、事故報告は9件あった。事故は死亡や入院など重大事故の発生はなかった。
- ・ヒヤリッ・ハット報告の事例は月1回のリスクマネジメント会議で振り返る機会は継続し、職員への周知徹底した。

ヲ、社会貢献

- ・熊本震災の時に育成会を通じて問い合わせた。

平成28年度 事業報告

あおいとり日野(就労継続B型)

出張所:サン・3ショップ青い鳥高幡店・サン・3ショップ青い鳥南平店

1、サービス事業について

(1)定員数・現員数・平均年齢

就労支援B型	男性	女性	現員合計
定員:10名	3名	8名	11名
平均年齢	45.6	41.8	42.91

(参考)平均支援区分:3.55

(2)利用実績

開所日数	247日
平均利用人数(1日)	10.5人(95.9%)

(3)入退所者状況

入所者	0名	退所者	0名
同事業所でのサービス変更	0名		

(5)職員体制

常勤換算	職業指導員	生活支援員	目標工賃達成職員	合計
常勤	1.0	0.0	0.0	1.0
非常勤	0.0	1.2	1.0	2.2
合計	1.0	1.2	1.0	3.2

*7.5:1(利用者:職員)人員配置区分I型

*有資格者:介護福祉士2名

*管理者、サービス管理責任者兼務

(6)拠点について

・3月19日に東平山建屋前の都道が開通し、生活介護を上田に分散するため、3月14日から試行期間として東平山を拠点とした。

2、各事業の活動実績

平成28年度目標工賃:21,602円	平成28年度工賃実績:23,500円(時給335円)
--------------------	----------------------------

①送迎サービス	・送迎 443 回		
②行事	4月 出発式	12月 障害者週間、クリスマス会	
	9月 2泊旅行	3月 福祉のつどい、納会	
	10月 運動会		
③定期プログラム	・刺しゅう指導 20 回	・環境整備 2 回 (店舗整備)	
④余暇活動	・音楽リハビリ 11 回	・3B体操 9 回	・土曜プログラム 5 回
	・メイク講座 1 回	・調理 43 回	(含:障害者週間出演)
⑤ショップ関係	・高幡店感謝で一 12 回	・南平店感謝で一 12 回	
	・節分会イベント		
⑥健康・衛生管理	・ドクター巡回 6 回	・健康会議 6 回	・健康診断(6月)
	・歯磨き点検(毎日)		
⑦家族会との連携	・家族会 5回	・契約及び個別支援計画面談等(11名)	
	・サービス等利用計画面談 11 回	・支援区分調査面談 2 名	

⑧親の会との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・役員会 10回 ・親の会バスハイク 2回 ・母親ボランティア ・勉強会 3回 ・親の会総会 ・青い鳥バザー ・育成会都大会 ・歳末バザー
⑨地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・外部ボランティア 延べ45名 ・もりしげ感謝祭 ・わーく・わーく会議 12回 ・回転市場バザー ・近隣中学校職場体験実習受け入れ 2名 ・産業祭 ・夏ボラ説明会 ・八王子いちよう祭 ・七生特別支援学校事業所説明会 ・地域懇談会
⑩防災関係	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練 6回
⑪会議等	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返り 236回 ・就労継続職員会議 12回 ・個別支援会議 11名 ・運営委員会 12回 ・リスクマネジメント会議 12回 ・就労支援部会 3回 ・職員会議 12回 ・ショップ会議 2回
⑫第三者評価	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度実施予定
⑬社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・実績なし

3、平成28年度 サービス提供実績【延べ人数・収入】

別途資料 参照

4、28年度を振り返って

イ、利用者の状況について

- ・サービス変更をされた方はいなかった。
- ・親御さんが亡くなったことにより、他法人のグループホームをご利用開始された方がいた。

ロ、職員配置について

- ・27年度ベースでの職員配置となった。

ハ、工賃について

- ・年度当初ショップ時給を300円、上田時給を200円とし、10月よりショップ時給を350円、上田時給を250円とした。
- ・平成28年度に目標工賃達成加算Ⅱ型(時給単価:最低賃金の1/3)を申請することができた。
- ・ショップの工賃時給単価に段階(360円・300円・260円)を付け、各ショップの位置づけを明確にすることによって、働くことへの意識付けに繋げることを課題とする。

ニ、サービスの提供について

- ・日頃出来ないお楽しみをコンセプトに土曜プログラムを年5回行い、余暇活動も27年度に引き続き展開してきた。ご本人の意思を尊重し、各回出欠自由で催した。
- ・12月の障害者週間に参加。土曜プログラム特別版として位置づけ、イオンホールで3B体操を行う。
- ・送迎に関しては就労継続B型利用者の自立性や生活の拡がりを優先し、自身で通えることを前提に徐々に送迎の範囲を狭めてゆき28年度末で廃止となった。

ホ、就労活動について

- ・日野市役所の売店勤務は、平成27年度から半日勤務を実施し関われる利用者を増やした。一日勤務への移行にはつながらなかったが、1日勤務の体験をした。
- ・作業を通して一日を振り返る手がかりとして自己点検記録(スマイルノート)を活用を続けている。
- ・社会性や協調性を図るためにマナー講座(チャレンジ会)を27年度に引き続き実施した。相談に上がっていること、気になることなど利用者の声をもとに話し合う機会となった。

ヘ、健康衛生管理

- ・チャレンジ会で健康に関する勉強会を開いた。

ト、家族との連携

- ・27年度からの反省で、ご家族との情報共有、利用者の共通理解を目的とし、周知の仕方や、会議録の提示の仕方を工夫に努めた。出席率は3.6%であった。今後、家族会の在り方を土曜日プログラムとリンクさせ家族参加型のプログラムとし、参加のしやすさを狙いたい。

チ、地域との連携

- ・青い鳥バザーを催して地域とのつながりを深めた。
- ・地域の応援あってこそそのリサイクルショップなので、地域清掃活動を取り入れていく。

リ、防災関連

- ・相模原の事件を受け、警察に相談した。
- ・防犯ブザーを設置した。

ヌ、苦情解決

- ・家族会で第三者委員の紹介をし、周知し、理解を深めた。

ル、ヒヤリッ・ハット報告、事故報告

- ・ヒヤリッ・ハット報告は年間43件、事故報告は9件あった。事故は死亡や入院など重大事故の発生はなかった。
- ・ヒヤリッ・ハット報告の事例は月1回のリスクマネジメント会議で振り返る機会は継続し、職員への周知徹底した。

ヲ、社会貢献

- ・熊本震災の時に育成会を通じて問い合わせた。